

1 1 その他動物

哺乳類
鳥類
爬虫類
両生類
汽水・淡水魚類
昆虫類
クモ類
貝類
甲殻類
その他動物

EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD

イセマミズクラゲ

ヒドロ虫目ハナガサクラゲ科

三重県：絶滅 (EX)

環境省：DD

Craspedocusta iseana Oka & Hara, 1922

旧県：絶滅 (EX)

選定理由： 県内既知の生息地は1地点。日本最初の淡水クラゲとして三重県で発見、記載された。発見から100年近く経過するが、再発見や生息の報告はなく、絶滅したものと考えられる。

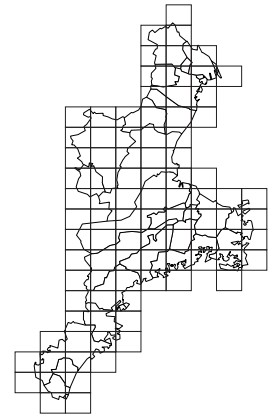
種の概要： 平衡器は球形で、マミズクラゲのように管状になっていない。また、縁膜中に遠心管が全くみられない。成体では触手は128本で刺胞は触手上に散らばる。

分布： 1921年に津市新町で発見されたものが国内唯一の記録である。水面までの深さ0.5 m、水深2.5 mの常用されていた古井戸に出現した。

現況・減少要因： イセマミズクラゲが発生した井戸は、井戸所有者の屋敷が火災にあい、その際に埋められた。長らく発見や生息の報告はなく、絶滅したものと考えられる。

特記事項： 発見から100年近くも生息情報がなく、国内唯一の生息地が消滅した。

文献： 2. 4. 5. 6. 7.



(中野 環)

イチハシヤスデ

ヤスデ綱カザアナヤスデ科

三重県：準絶滅危惧 (NT)

環境省：—

Dasynemasoma ichihashii Murakami

旧県：準絶滅危惧 (NT)

選定理由： いなべ市藤原町「篠立の風穴」にのみ生息する固有種。

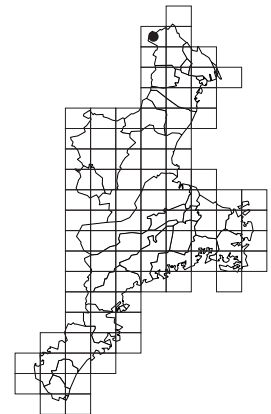
種の概要： 体長32.0 mm。胴節は62節。歩肢は短く、目は退化し、体色も退色して乳白色。体型は細長い。

分布： 日本固有種で、本州の三重県北部に分布する。いなべ市藤原町「篠立の風穴」にのみ生息する。

現況・減少要因： 現状では生息は維持されている。洞窟性の種は環境の変化に敏感であるが、現在の洞窟が維持できれば、生息の保持は可能である。

保護対策： 天然記念物として保護されている「篠立の風穴」の永続的な環境管理が必要である。洞窟独自の形成過程の変化にも観察管理に注意すべきである。

文献： 1. 3.



(市橋 甫)

アマガスホタルヤスデ

ヤスデ綱ホタルヤスデ科

三重県：準絶滅危惧 (NT)

環境省：—

Kopidoiulus truncatus Murakami

旧県：準絶滅危惧 (NT)

選定理由： 三重県では大紀町藤木屋「木屋のこうもり穴」に生息する。

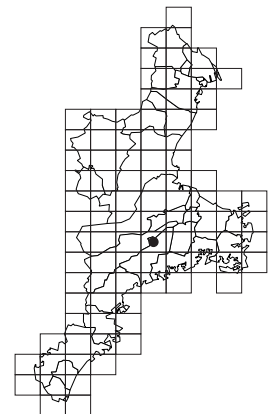
種の概要： 体長雄19~30 mm、雌38~47 mm。胴節雄39~43節、雌38~47節。目は退化し、体色も退色して乳白色、細長い体型をしている。

分布： 本州の中部に分布する。三重県では「木屋のこうもり穴」にのみ生息し、他では愛知県豊橋市嵩町「蛇穴」、静岡県浜松市(旧引左郡引左町)「タチスの斜め穴」からも記録されている。

現況・減少要因： 本種は環境の変化に鋭敏な種である。現状では生息は維持されているものの、入洞しやすい洞窟であるため、過度な入洞が本種をはじめ洞窟性動物の生息に大きな影響を与えている。

保護対策： 洞窟周辺の開発はもちろん、入洞などにとまなう人為的な環境変化についても行政の指導並びに地元の理解ある協力が必要である。

文献： 1. 3.



(市橋 甫)

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・
淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他
動物

文 献

1. 市橋 甫. 1992. 三重県を模式産地とする2種の洞窟性ヤスデ. 三重生物, 42: 10-12.
2. 角田 保. 1960. 三重県における最近の珍奇動物三種の知見. 三重生物, 10: 35-42.
3. Murakami, Y. 1979. A New Genus and Species of Nemasomatid Millipede from Central Honshu, Japan. Journal of the Speleological Society of Japan. 4: 17-22.
4. Oka, A and M, Hara. 1922. On a new species of Limnocoelium from Japan. Annot. Zool. Japan, 10: 83-87.
5. 榊原慎吾. 1964. マミズクラゲ. 三重生物, 14: 1.
6. Uchida, T. 1955. Dispersal in Japan of the Fresh-water Medusa, *Craspedacusta sowerbyi* Lankester, with Remark on *C. iseara* (Oka and Hara). Annotationes Zoologicae. Japonenses. 28(2): 114-120.
7. 内田 亨・伊藤猛夫. 1973. 11 腔腸動物 COELENTERATA. 日本淡水生物学 (上野益三 編), pp. 200-206. 北隆館, 東京.

EW

EW

CR

EN

VU

NT

DD